

プレス発表

平成27年7月16日

多摩川精機株式会社

この度、多摩川精機株式会社(本社 長野県飯田市、社長 関重夫)は、八戸市北インター工業団地内にあるシチズンセイミツ八戸株式会社の不動産を取得し、青森県における5番目の工場として、八戸事業所(取締役所長 塚平守)前山第二工場(仮称)をスタートさせることになった。

当社は、青森県の地域振興を目的とする企業誘致に応じ、東北地方の拠点として平成3年に八戸市の桔梗野工業団地に関連会社の八戸多摩川株式会社(現多摩川ハイテック株式会社)を設立、産業設備関連の機器を中心に開発・製造を行ってきた。平成12年には八戸市の北インター工業団地内に多摩川精機八戸事業所を竣工、同時に事業所にはモーションコントロール研究所を併設して、医療機向けトラックボール、新幹線等車輛用速度センサ、産業機械用角度センサ、小型制御モータ等を開発・生産してきた。

また、角度センサや制御モータ等の受注増加に対応するため、平成18年には福地村(現南部町)に新たに八戸事業所福地第一工場を設立し、平成20年に自動車搭載用センサの製造拠点のひとつとして三沢市に八戸事業所三沢工場を設立してきた。更に平成21年にセンサ事業のもう一つの柱であるジャイロ及び小型サーボモータの製造拠点として南部町に八戸事業所福地第二工場を設立してきた。

その後、このジャイロ事業の拡大を目指して車や産業機械等を中心に広く用途拡大を図ってきている。このジャイロは半導体製造技術をベースとしており、小型、軽量、低価格を特長として、その市場はますます拡大を見せている。更に今後のジャイロ応用製品(IMU・傾斜計・横転防止センサー等)の需要の増加に応えるためにも、高度なクリーンルームを有する工場への拡張が必要となってきた。今回シチズンセイミツ八戸株式会社の液晶工場を取得し、八戸事業所の新しいジャイロ事業の工場として、福地第二工場から事業の移管を行うことになった。加えて飯田地区で製造しているエンコーダのガラスディスク製造工程をこの工場内へ増設することも計画している。

尚、余裕が出来る福地第二工場では現在の既存事業であるサーボモータ事業の一層の拡大を計画していく。

■ 多摩川精機(株) 八戸事業所前山第二工場(仮称)の概要

所在地	: 青森県八戸市北インター工業団地一丁目1番39号
敷地面積	: 34,251m ²
工場床面積	: 15,089.43m ²

■ 入居する製造子会社の概要

会社名	: 多摩川モバイル電装株式会社
本社	: 〒033-3134 青森県三沢市大津二丁目100番1号
代表取締役社長	: 久保田 明良
設立	: 平成20年3月21日

事業の内容 : 自動車搭載制御用ヨーレートセンサ、リモートコントロール産業機械用
センサ、運動検知用慣性センサ計測器、角度センサ用ガラスディスク
該当工場の従業員数 : 84名(平成29年度計画)

■ 本リリースに関するお問い合わせは

本社 総務人事部 総務課(0265-21-1811)